

2. Sozhavandan Girls Higher Secondary Schoolの給水改善(インド)

- 実施団体: VOC Rural Development Centre (VOCRDC)
- 実施地: インド タミル・ナードゥ州マドゥライ県
- プロジェクト予算: 1,720ドル (JWFファンド1,500ドル、受益者120ドル、団体100ドル)
- 受益者数: 1,700人 (生徒1,500人、教職員50名、地域住民150人)
- 実施地の水問題:

ソザヴァンダンの女子高等学校では、飲料水が不足している。学校には古くて小さな水タンクと腐食した配水設備しかない。既設の水汲み用電動モーターは故障中で、学校の生徒や教職員スタッフには乏しく汚染された水しか供給がなく苦しんでいる。喉の渇きを癒すために、一部の子どもたちは学校の近くにある井戸、池、湖から水を飲んでいる。こうした状況なので、子どもたちは多くの危険な水系疾患に感染している。最近、学校の近くの池から水を汲もうとした生徒が一人溺れて亡くなった。



錆びた既存井戸



井戸水源予定地

- 主な活動内容: 水源の確保(鑿井と揚水用水中ポンプ設置)、導水管、貯水槽、給水栓の設置、維持管理委員会の結成等。
- 特長: 学校側と地域側代表者が参加する維持管理委員会によって、使用状況、水質と財務状況を監視する。
- 実施団体: 1996年設立。タミル・ナードゥ州を中心に、女性と子どもの地位向上と貧困者の救済活動中。水分野では多数の学校や村落の給水衛生改善、家庭用低コストトイレ設置普及活動の経験あり。